

○全体

項目	内容
前回の委員からの主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・長い時間をかけて、長崎の未来への期待を込めて策定した基本計画を今から見直すのは受け入れにくい。 ・どのくらい金額や面積を落とすのか目標がなく、案を示されても審議しにくい。 ・見直し案は、大きな箱が作れないから小さな箱にしようという削減ありきの印象を受けた。 ・予算を削るために内容を削るのではなく、必要な予算を確保して施設を作ってほしい。 ・計画の骨子となる削れない部分と、削れる可能性のある部分の検討が必要。 ・他都市を参考にするのであれば、利用者の声などを検証したうえで慎重に検討してほしい。 ・整備に向けたスケジュールを示してほしい。

○舞台(奈落)

項目	内容
考えられる見直し案 (前回資料内容再掲)	当初は多様な演出に対応可能とするため必要に応じて大迫り・小迫りを備えるよう検討することとしていたが、長崎ブリックホールや他都市類似施設の実績に基づき大迫りが演出に使われる頻度が低く一部限られた演目にのみ使われている実績から、大迫りが無くても多様な演出は可能であるため今回大迫りまでは備えずその分大迫りの地下空間である奈落の面積を削減する。
前回の委員からの主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・迫りが無いと芝居がしにくい。迫りが無い劇場もあるが備えるべきと議論してきたはず。 ・ブリックホールの大迫りは大きすぎるが二回り小さければ使い勝手が良く使える。

○ホワイエ・エントランスロビー

項目	内容
考えられる見直し案 (前回資料内容再掲)	当初は観客の滞留空間であるホワイエとエントランスロビーをそれぞれ設けることとしていたが、改めて近年開館したホールで見られる事例にならいホワイエとエントランスロビーを一体利用することで各々の機能を確保しつつ面積を減らすことが可能となったことから、面積を削減する。
前回の委員からの主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様のお出迎えやお見送り、動線、必要な雰囲気づくりなどについては、実際に一体型の施設での利用の実態や利用者の意見を踏まえたうえでなければ、単に一緒にすれば良いわけではない。 ・本来、ホワイエは有料の空間のため、ホワイエとエントランスロビーを一緒にしてしまうと、特別感がなくなり、劇場の魅力が減る。

○技術諸室(調光盤室)

項目	内容
考えられる見直し案 (前回資料内容再掲)	当初は舞台の照明はハロゲンを想定しておりハロゲンでは光を調整するための調光盤を設置する諸室(調光盤室)が必要だが、照明技術の進歩により現在はLEDでも対応可能な状況のため、LEDでは不要となる調光盤室は設置しない。
前回の委員からの主な意見	・明るくするだけならLEDで良いが、細かい舞台照明演出の面では現段階ではハロゲンでないと表現できない。

○リハーサル室(小劇場)

項目	内容
考えられる見直し案 (前回資料内容再掲)	当初リハーサル室(小劇場)に必要なと想定していた面積に対し、直近で他都市の類似施設を改めて確認した結果、より小さい面積でも対応できていることが確認できたため、必要面積まで面積を削減する。
前回の委員からの主な意見	・展示に使う場合は、憩いの場として来館者が展示を鑑賞できるような場であれば良い。

○練習室

項目	内容
考えられる見直し案 (前回資料内容再掲)	当初は練習室の設置を想定していたが、現在の市内の会議室の稼働率を鑑み、これまでコンベンション機能を担ってきたブリックホールの会議室を市内の練習室不足を早期解消するため練習室に早期改修することを前提とし、練習室は設置しない。
前回の委員からの主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ブリックホールの会議室を練習室に改修しても市内の練習室不足は解消されない。 ・練習室は創造支援機能として絶対必要と議論してきた。これからの文化施設はいかに活動を広げていくかが重視されるので、創造支援機能を細らせることは、文化施設の機能を細らせることになる懸念がある。 ・練習室が毎日使われることで、公演がない時も賑わう施設となり、日常的に人が集まる賑わい創出の場となる。 ・公演本番の際は、ホールとリハーサル室と楽屋だけではなく、着替えや音出しができる練習室が必要。 ・基本計画において楽屋を練習室としても兼用することとしているが、公演本番の際は楽屋として使う必要があり練習室としては使えない。このため、専用の練習室をなくすと本番の際に練習室がない施設となる。 ・民間が運営する際、利用料を運営資金とするため貸し出せる部屋が多い方が良いのではないかとという点は検証してほしい。

○事務室(利用者打合せ室)

項目	内容
考えられる見直し案 (前回資料抜粋)	当初は利用者打合せ用の個室を設けることとしていたが、カウンター等で対応可能であるため、面積を削減する。
前回の委員からの主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子だとカウンターでは不便ではないか。障害がある人にも配慮した設計をお願いしたい。 ・団体の打合せや荷物置きのために個室は必要。